

【NRCLレポート】 花粉症／花粉アレルギー調査

Part2：花粉症／花粉アレルギーの人の調査結果編

2019年3月調査結果

 **日本リサーチセンター**
Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1
TEL:050-3785-0700(代) FAX:03-6667-3471
<http://www.nrc.co.jp/>

◆NRCLレポート

日本リサーチセンター(NRC)では、**全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査(NOS)**を、毎月定期的を実施しております。本レポートは、NOSを利用した自主調査「**花粉症/花粉アレルギー**」についての紹介です。

この調査は、2003年3月に初めて実施し、その後、2010年以降毎年3月に実施している時系列調査です。サンプル数は、エリア・都市規模と性年代構成を日本の人口構成比に合致するよう割付をおこないました。また、対象エリアは日本全国、年代は15歳から79歳までと対象者の幅を広く設定していますので、全体結果は日本人全体の実態や意識を反映しているとお考えください。

調査結果は、「Part1:全体編」(**発表済み**)と「Part2:花粉症/花粉アレルギーの人の調査結果編」(**本篇**)の2つに分けてご紹介します。

◆調査内容/項目

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ①花粉症/花粉アレルギーの有無 | ②花粉症/花粉アレルギーになった時期 |
| ③花粉症/花粉アレルギーの症状がある月 | ④花粉症/花粉アレルギーの症状の程度 |
| ⑤今シーズン病院に行ったか | ⑥花粉症/花粉アレルギーに対して具体的に行っている対策 |
| ⑦花粉症/花粉アレルギーの対策はいつ頃から始めたか | ⑧マスクをつけることに抵抗感を感じる程度 |
| ⑨「舌下免疫療法」/認知、治療意向、推奨意向 | ⑩最近3カ月間に花粉対策でとった行動 |
| ⑪最近3カ月間で花粉対策用に購入した商品 | ⑫マスクをつけることについて |

◆主な結果は以下の通りです。

①花粉症/花粉アレルギーの有無(全数ベースの結果)

- 2003年と2019年の2期での変化を見ると、25%から41%と16ポイント増加している。

※以下の項目は、いずれも花粉症/花粉アレルギーの症状がある人ベースの結果

②花粉症/花粉アレルギーになった時期

- 「10年以上前」から症状があると回答した人が52%と約半数を占める。

③花粉症/花粉アレルギーの症状がある月

- 2～5月に症状を感じると回答している人が多く、花粉症の主なシーズンと言える。特に「3月」はシーズンのピークであり、2019年では89%となっている。

④花粉症/花粉アレルギーの症状の程度

- 「鼻水・鼻づまり・くしゃみなどの鼻の症状」が「重い・計」(「非常に重い」～「やや重い」)と回答した人が64%と3分の2近くを占める。

⑤今シーズン病院にいったか

- 「すでに病院に行った」人は32%、「これから病院に行くつもり / 行きたい」は15%で、合計48%が「病院に行った」「行くつもり/行きたい」と回答。

⑥花粉症/花粉アレルギーに対して具体的に行っている対策

- 「マスクをする」が76%で最も多い。
- 薬の利用について、内服薬は処方薬が39%で市販品の25%より多いが、外用薬は市販品が33%で処方薬の26%より多い。

⑦花粉症/花粉アレルギーの対策はいつ頃から始めたか

- 「2月の下旬」が22%で最も多い。
- 2013年は「3月上旬以降」が34%、2019年は16%と19ポイント減少しており、花粉症シーズンのピークを迎えてから対策をするという人は減っている。

⑧マスクをつけることに抵抗感を感じる程度

- 「抵抗がある・計」は2011年の47%から2019年は26%と21ポイント減少している。

※以下の項目は、いずれも花粉症/花粉アレルギーの症状がある人ベースの結果

⑨「舌下免疫療法」／認知、治療意向、推奨意向

- 舌下免疫療法について、2019年は51%が認知。
- 治療意向について、「興味・関心あり」と回答した人は67%、家族や友人に勧めたいかどうかについて、勧めたいと回答した人は36%いる。
- 2016年と2019年の比較では「受けてみたいと思わないし、興味・関心もない」が2016年の26%から2019年は33%と7ポイント増加している。

⑩最近3カ月間に花粉対策でとった行動

- 「花粉がつくのを防ぐため、洗濯物を部屋干しするようになった」が34%で最も多い。

⑪最近3カ月間で花粉対策用に購入した商品

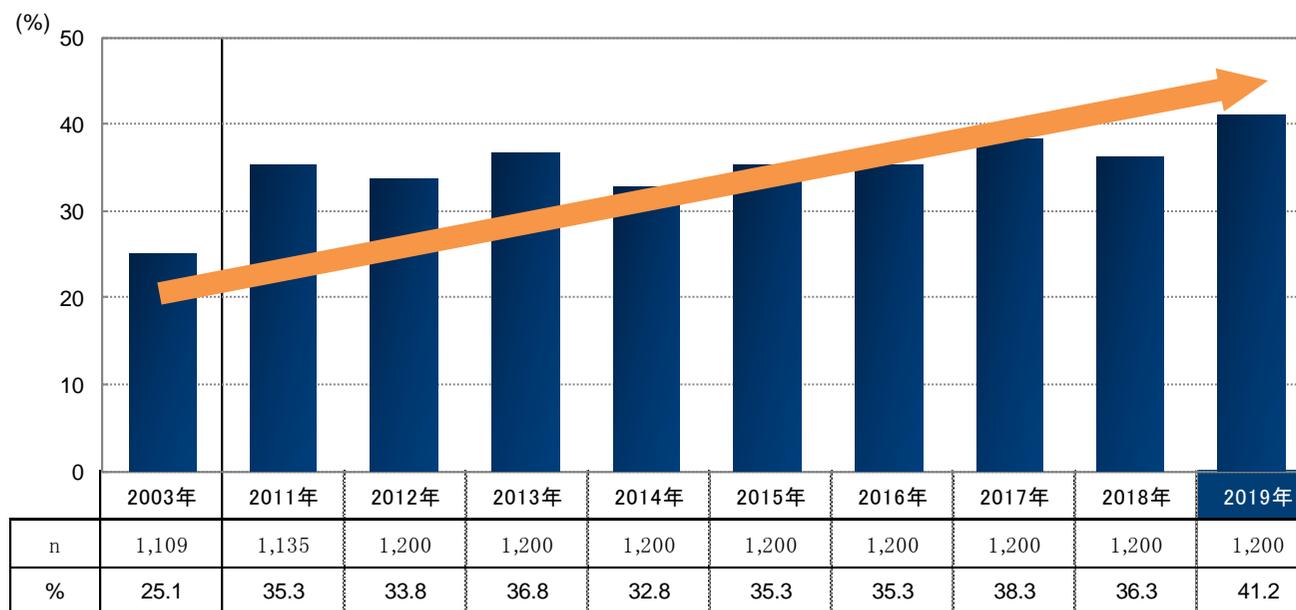
- 「花粉症の鼻への負担がかかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」が24%と最も多く、昨年から6ポイント増加している。

⑫マスクをつけることについて

- 「恥ずかしい・格好悪い」で「そう思わない」が78%、「不潔に感じる」で「そう思わない」が81%と、否定する人が多い。
- 時系列でみると、「恥ずかしい・格好悪い」は継続的に「そう思わない」が増加しており、2011年の63%から2019年は78%と15ポイント増加した。

- ◆「花粉症/花粉アレルギー」について、2003年のデータを加えて時系列変化を見たところ、2003年は25%だったが、2011年から2018年は33～38%、2019年で41%と増加した。
- ◆2003年と2019年の2期での変化を見ると、25%から41%と16ポイント増加している。

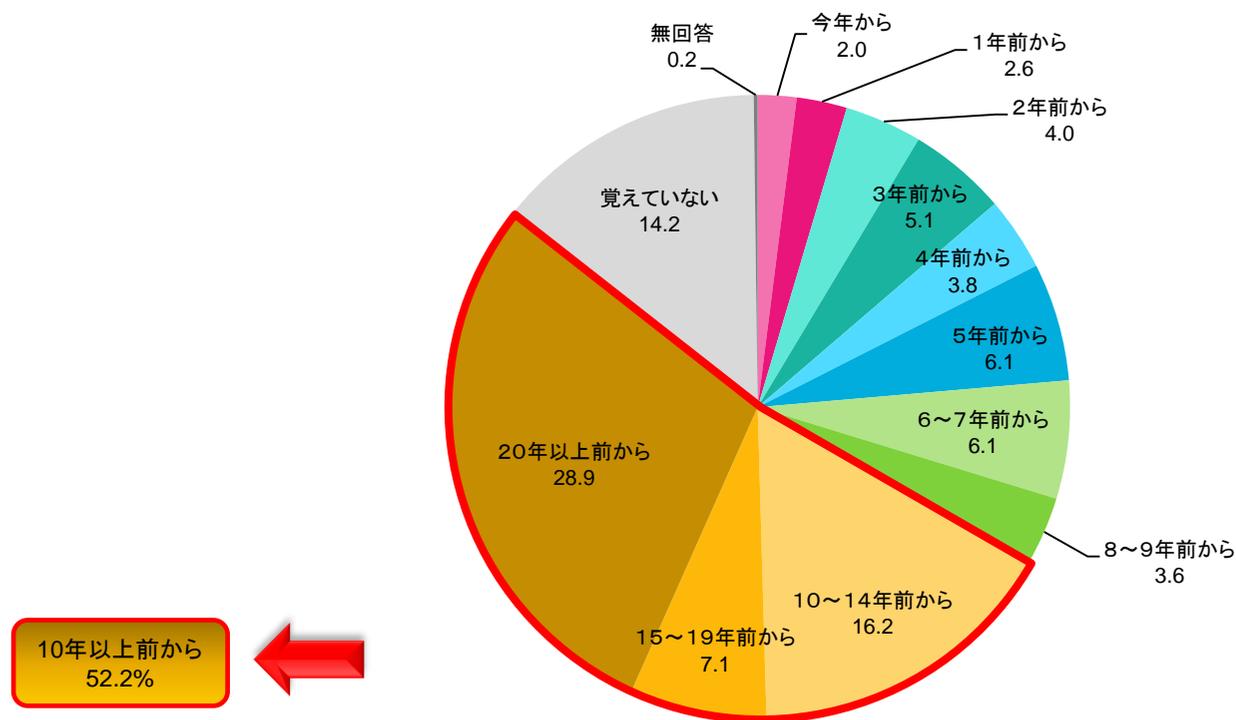
■ 全体(n=1,200) 時系列



◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、いつから「花粉症/花粉アレルギー」になったかを聞いたところ、「10年以上前」から症状があると回答した人が52%と約半数を占める。

Q いつから花粉症/花粉アレルギーになりましたか。(単数回答)

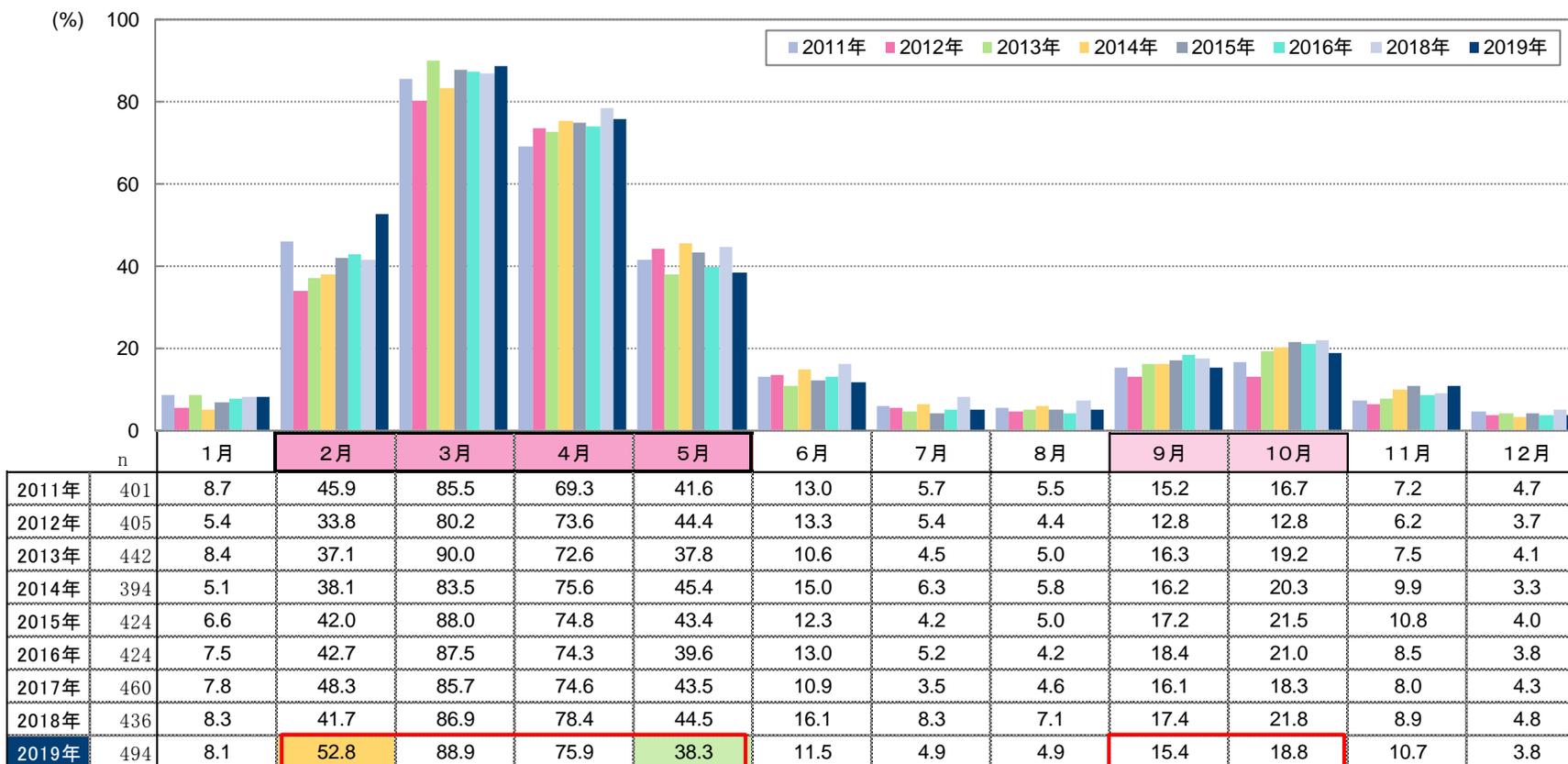
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人(n=494) 2019年



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に症状がある月を聞いたところ、2～5月に症状を感じると回答している人が多く、花粉症の主なシーズンと言える。その中でも特に「3月」はシーズンのピークであり、2019年では89%となっている。
- ◆「9月」「10月」も15～19%が回答しており、秋に症状を感じる人も一定数いる。
- ◆時系列でみると、2019年は「2月」が53%で昨年から11ポイント増加、「5月」が38%で昨年から6ポイント減少した。

Q あなたの花粉症の症状がある時期をすべてお知らせください。(複数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



(%)

(注) は2018年より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

- ◆症状がある月について、2019年の結果を性別・年代別・地域別にまとめた。
- ◆性別で見ると、女性の方が男性よりも「10月」に症状を訴える人が多い。
- ◆年代別で見ると、「60～79歳」は「2月」「6月」が他の年代に比べて多い。
- ◆地域別で見ると、他の地域では「3月」に症状を感じるピーク(88～93%)を迎え、「4月」以降は減少するのに対し、「北海道・東北」は「4月」の82%がピークで、他の地域と比べて花粉症の主なシーズンがずれている。

Q あなたの花粉症の症状がある時期をすべてお知らせください。(複数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 2019年 性別・年代別・地域別

		n	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体		494	8.1	52.8	88.9	75.9	38.3	11.5	4.9	4.9	15.4	18.8	10.7	3.8
性別	男性	238	8.8	51.7	90.8	76.5	39.1	10.9	5.0	3.8	10.5	13.4	9.2	2.5
	女性	256	7.4	53.9	87.1	75.4	37.5	12.1	4.7	5.9	19.9	23.8	12.1	5.1
年代別	15～29歳	83	8.4	50.6	89.2	71.1	31.3	12.0	6.0	6.0	15.7	18.1	9.6	6.0
	30～59歳	282	7.4	50.0	91.1	80.1	40.4	8.2	2.8	3.5	15.2	22.0	13.1	2.8
	60～79歳	129	9.3	60.5	83.7	69.8	38.0	18.6	8.5	7.0	15.5	12.4	6.2	4.7
地域別	北海道・東北	34	5.9	14.7	70.6	82.4	61.8	23.5	20.6	20.6	23.5	26.5	11.8	11.8
	関東	207	10.1	52.2	92.8	84.1	42.0	12.1	4.8	4.3	14.0	17.4	10.1	2.4
	中部・北陸	78	7.7	56.4	88.5	73.1	41.0	12.8	3.8	3.8	17.9	17.9	11.5	6.4
	近畿	80	5.0	48.8	87.5	73.8	33.8	7.5	1.3	5.0	15.0	20.0	11.3	2.5
	中国・四国・九州	95	7.4	68.4	88.4	60.0	23.2	8.4	3.2	1.1	13.7	18.9	10.5	3.2

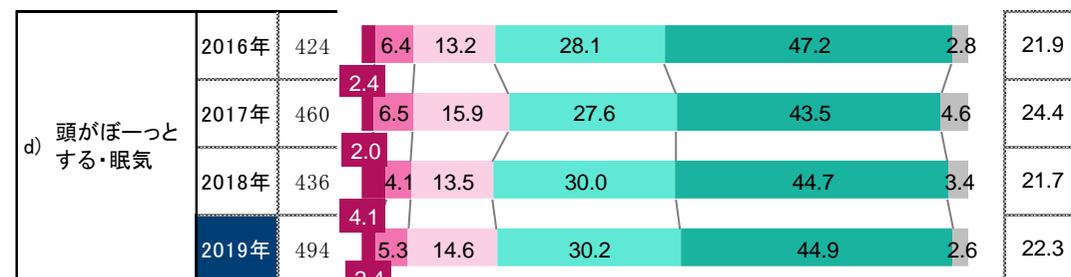
(%)

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、最近1~2週間(※)での症状の程度を聞いたところ、2019年の結果では「鼻水・鼻づまり・くしゃみなどの鼻の症状」が「重い・計」(「非常に重い」~「やや重い」)と回答した人が64%と3分の2近くを占める。(※)2019年の調査期間は2/28~3/13

Q 最近1~2週間でのあなたの花粉症の症状について、それぞれその程度をお知らせください。(各単数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



(%)

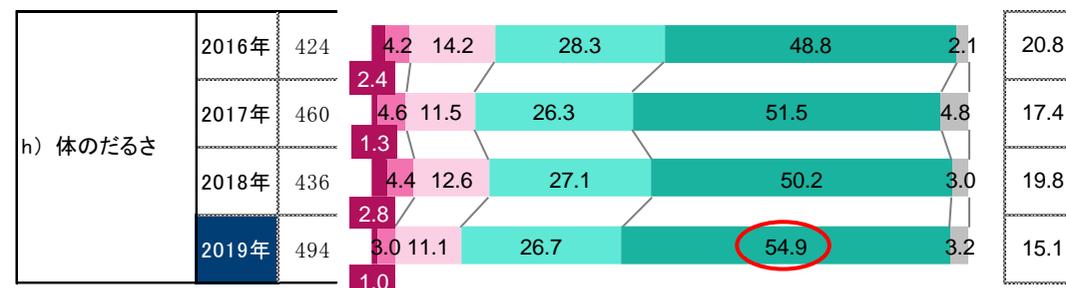
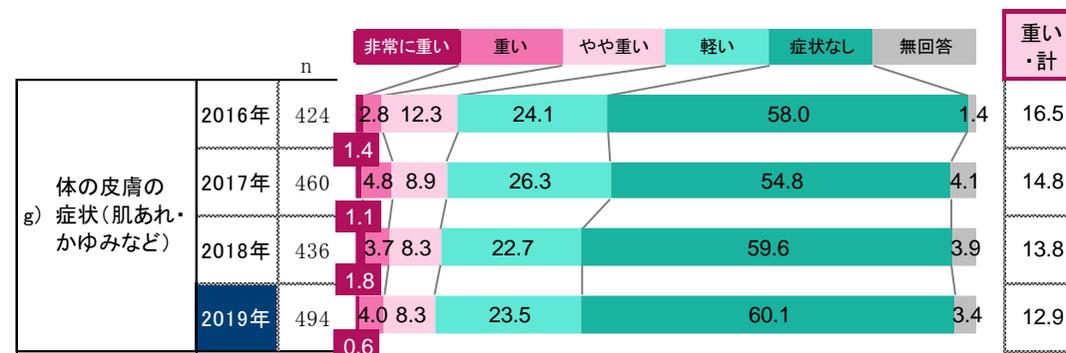
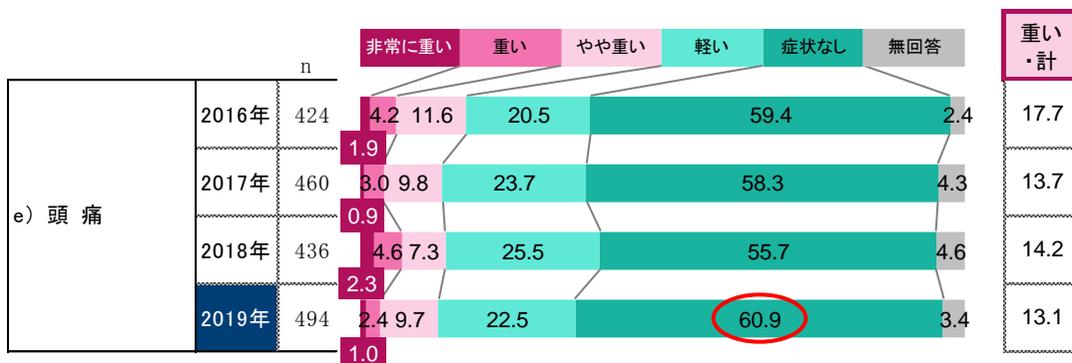
(%)

※選択肢は、「1.症状なし」「2.軽い」「3.やや重い」「4.重い」「5.非常に重い」の順で提示した

◆時系列でみると、「頭痛」について「症状なし」と回答した人が2019年は61%で、昨年から5ポイント増加した。
同様に「体のだるさ」について「症状なし」と回答した人が2019年は55%で、昨年から5ポイント増加している。

Q 最近1～2週間でのあなたの花粉症の症状について、それぞれその程度をお知らせください。(各単数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



(%)

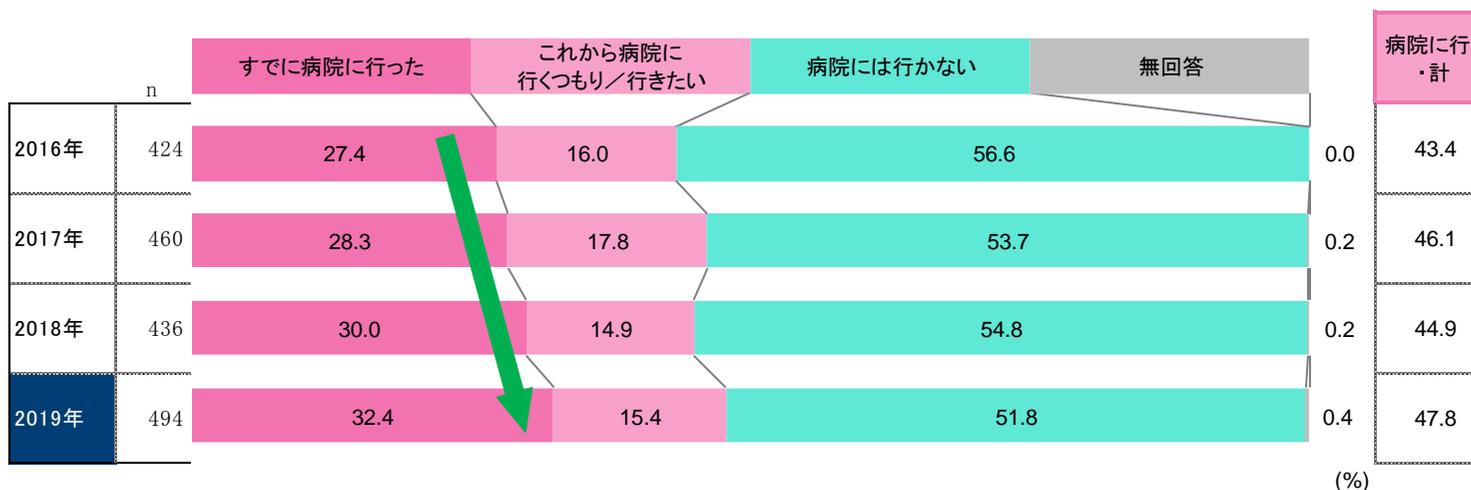
(%)

※選択肢は、「1.症状なし」「2.軽い」「3.やや重い」「4.重い」「5.非常に重い」の順で提示した

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、今シーズン病院に行ったかを聞いたところ、2019年の結果では「すでに病院に行った」人は32%、「これから病院に行くつもり / 行きたい」は15%で、合わせると48%が「病院に行った」または「行くつもり/行きたい」(「病院に行く・計」と答えている。
- ◆時系列で見ると、「すでに病院に行った」が2016年から2019年で27%から32%と5ポイント増加している。

Q 花粉症/花粉アレルギーの症状に対して、今シーズンは病院に行きましたか。(各単数回答)

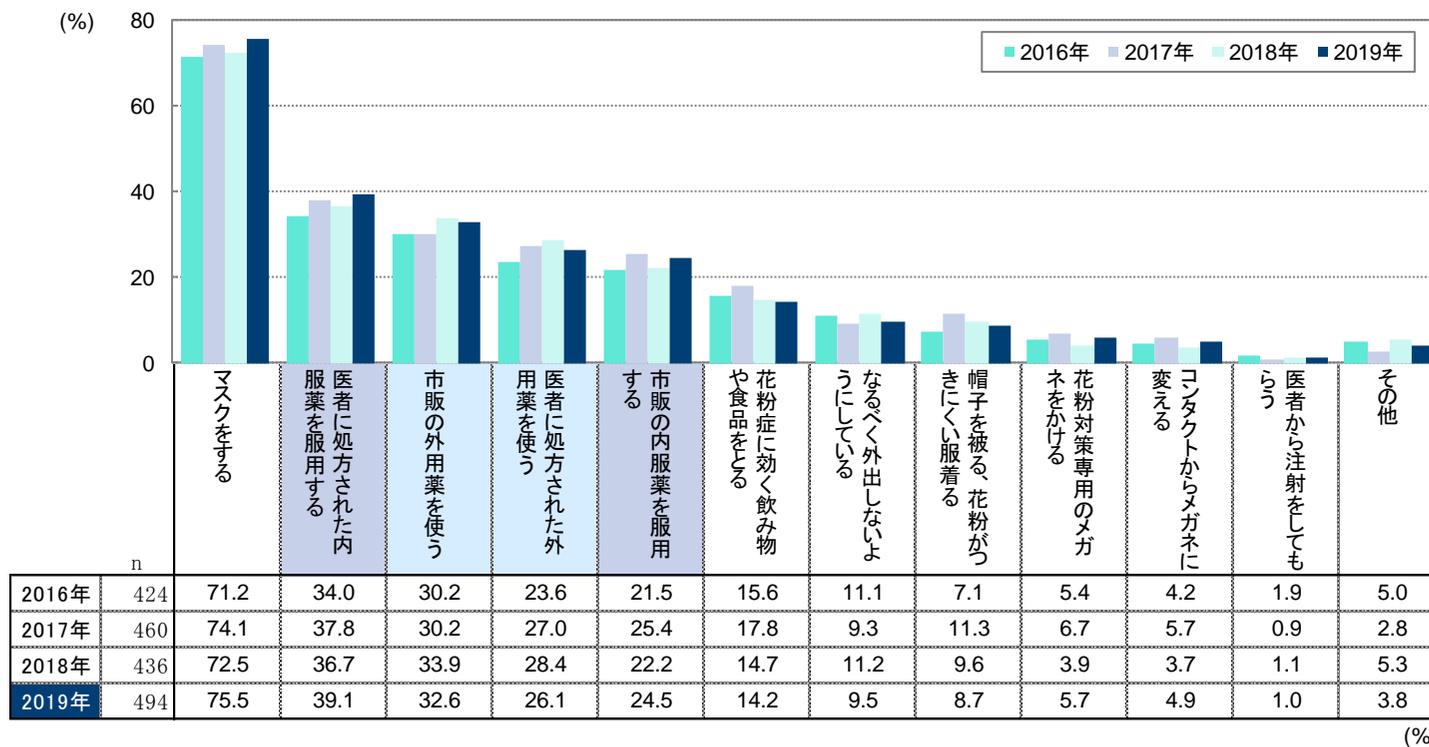
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に行っている対策を聞いたところ、「マスクをする」が76%で最も多い。
- ◆薬の利用について、内服薬は処方薬が39%で市販品の25%より多いが、外用薬は市販品が33%で処方薬の26%より多い。
- ◆時系列では、大きな変化は見られない

Q あなたは花粉症対策として具体的にどのような対策を行っていますか。次の中からあてはまるものをすべてお知らせください。(複数回答)

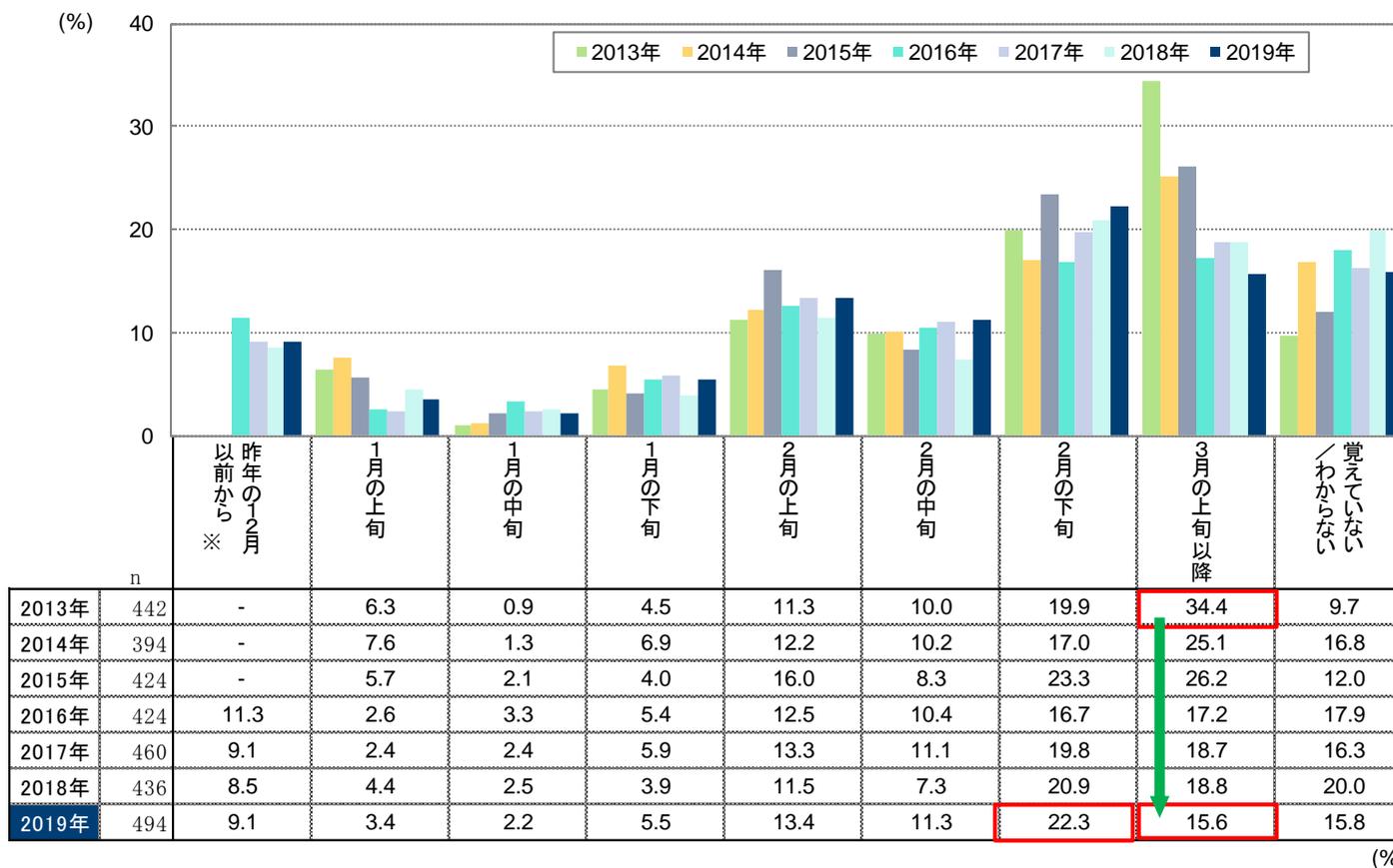
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列(多い順に並び替え)



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に花粉症対策を始めた時期を聞いてみると、2019年は「2月の下旬」が22%で最も多い。
- ◆時系列でみると、2013年は「3月上旬以降」が34%いたが、2019年は16%と19ポイント減少しており、花粉症シーズンのピークを迎えてから対策をするという人は減っている。

Q 前問でお答えになった対策は、いつ頃から始めましたか。(単数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



※「以前の12月以前から」は2016年から聴取

(%)

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、マスクをすることに対する抵抗感を聞いたところ、2019年は26%が「抵抗がある・計」(「かなり抵抗感がある」+「やや抵抗感がある」)と回答している。
- ◆時系列でみると、「抵抗がある・計」は2011年の47%から2019年は26%と21ポイント減少している。

Q 花粉症/花粉アレルギー対策の1つとして、マスクをつける方法があります。マスクをつけるのは、人目を引いたり、顔を覆うことに心理的な抵抗感を感じる人もいます。あなたは、マスクをすることに対して抵抗感がありますか。(単数回答)

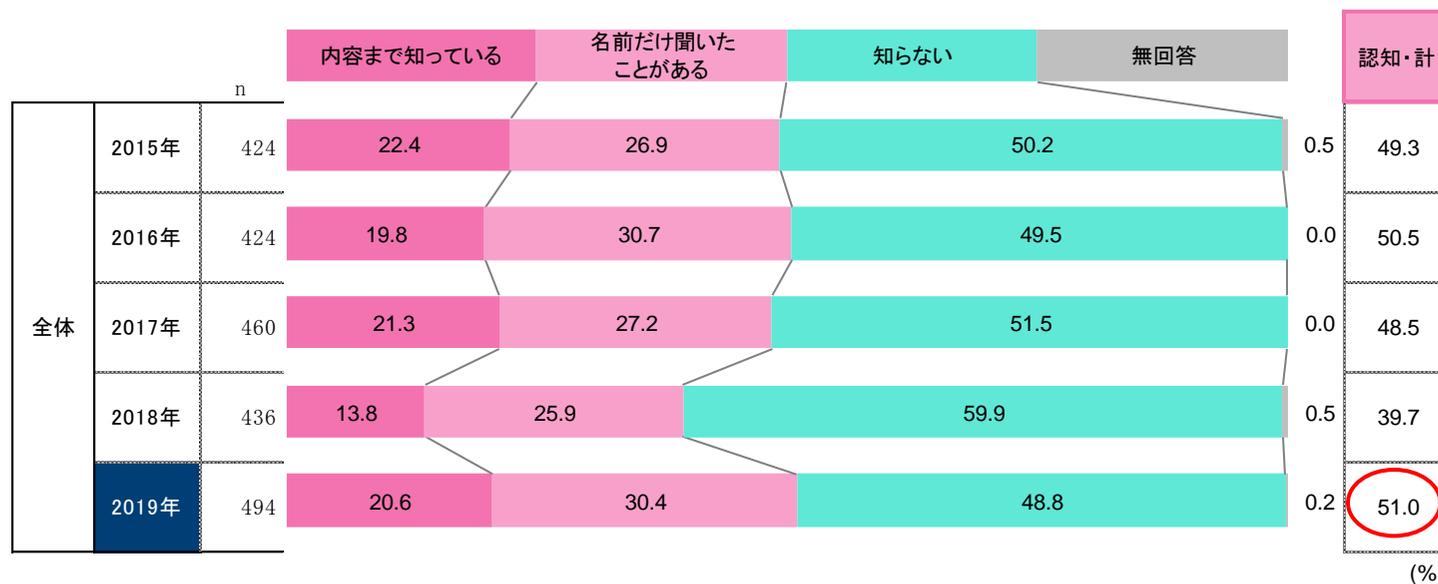
■花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に対して、「舌下免疫療法」について簡単に説明した後、この療法に関する認知を聞いたところ、2019年は51%が「認知・計」(「内容まで知っている」+「名前だけ聞いたことがある」)と回答している。
- ◆時系列でみると、2019年は「内容まで知っている」が21%で、昨年から7ポイント増加している。

Q あなたは、「舌下免疫療法」についてご存知ですか。「舌下免疫療法」とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)を含むエキスを舌の下に投与し、体内に吸収させる方法で、この投与を数年に渡って継続的に行うことで症状を軽減させる治療法です。スギ花粉症やダニアレルギーの治療薬は保険適応になります。(単数回答)

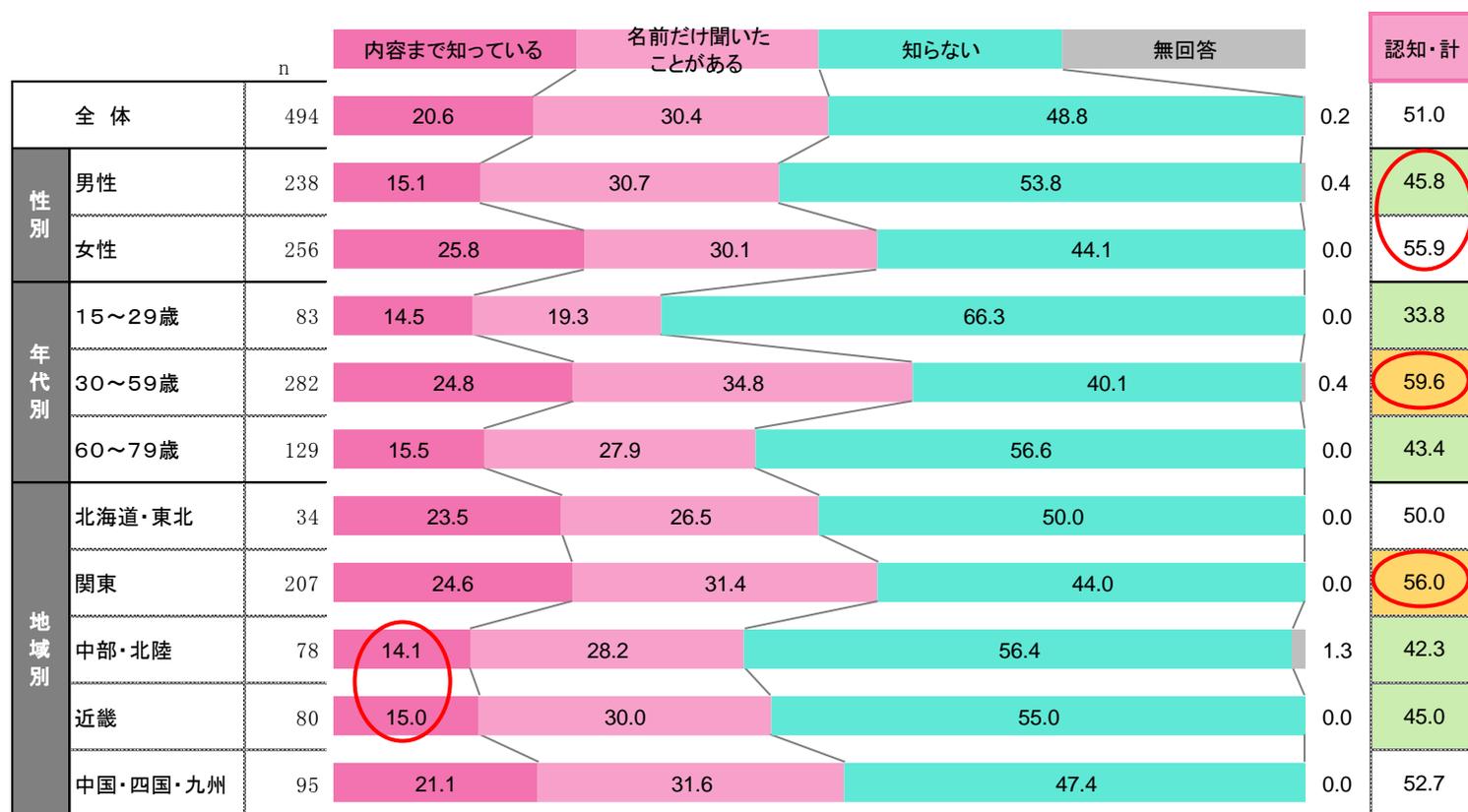
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



- ◆ 「舌下免疫療法」の認知について、2019年の結果を性別・年代別・地域別にまとめた。
- ◆ 性別で見ると、女性は「認知・計」が56%で男性に比べて10ポイント多い。
- ◆ 年代別で見ると、「30～59歳」は「認知・計」が60%と、他の年代よりも多い。
- ◆ 地域別で見ると、「関東」は「認知・計」が56%と他の地域に比べて多い。「中部・北陸」「近畿」で「内容まで知っている」のは14～15%に留まる。

Q あなたは、「舌下免疫療法」についてご存知ですか。「舌下免疫療法」とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)を含むエキスを舌の下に投与し、体内に吸収させる方法で、この投与を数年に渡って継続的に行うことで症状を軽減させる治療法です。スギ花粉症やダニアレルギーの治療薬は保険適応になります。(単数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 2019年 性別・年代別・地域別



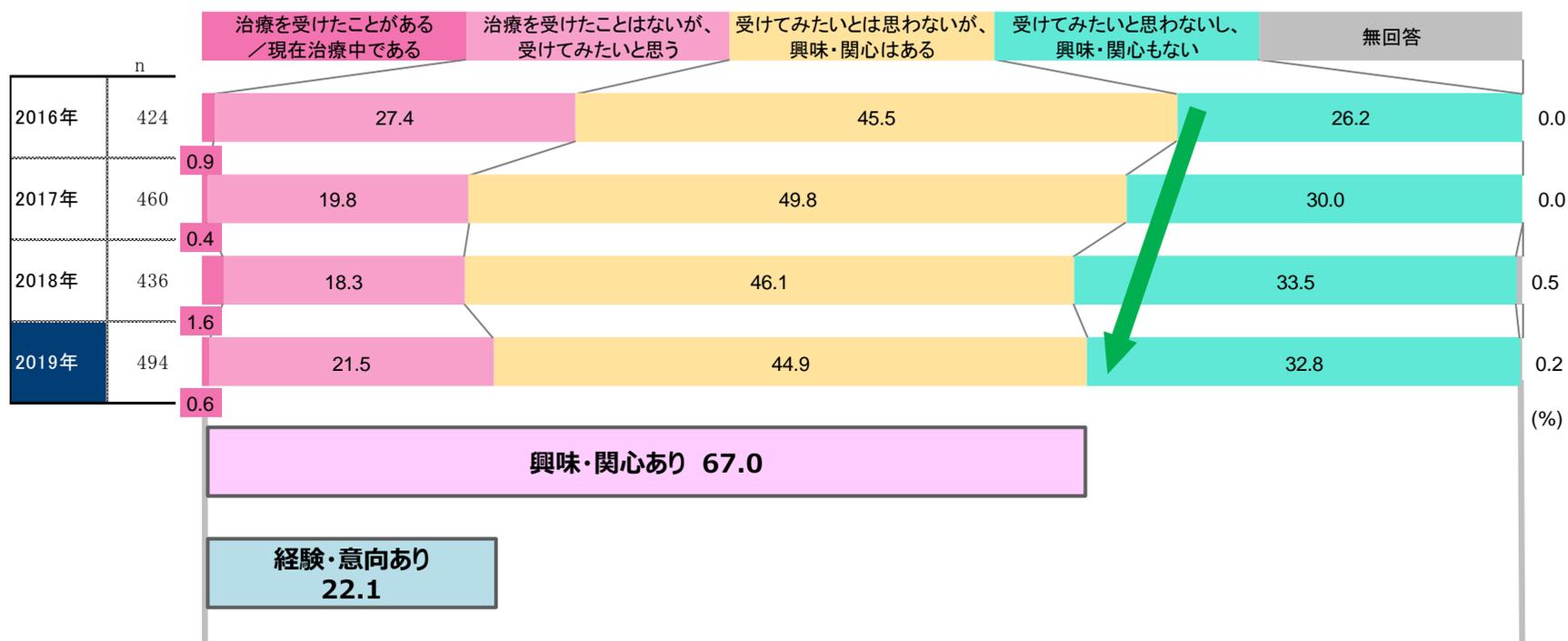
(注) 56.0 は全体より5ポイント以上高い、45.8 は5ポイント以上低い

(%)

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に対して、「舌下免疫療法」を受けてみたいと思うか聞いたところ、2019年は、「興味・関心あり」(「治療を受けたことがある / 現在治療中である」～「受けてみたいと思わないが、興味・関心はある」)と67%が回答しているものの、「経験・意向あり」(「治療を受けたことがある / 現在治療中である」～「治療を受けたことはないが、受けてみたいと思う」)は22%であり、興味・関心に留まる人が多い。
- ◆時系列でみると、「受けてみたいと思わないし、興味・関心もない」が2016年の26%から2019年は32.8%と7ポイント増加している。

Q あなたは、スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、この「舌下免疫療法」を受けてみたいと思いますか。(単数回答)

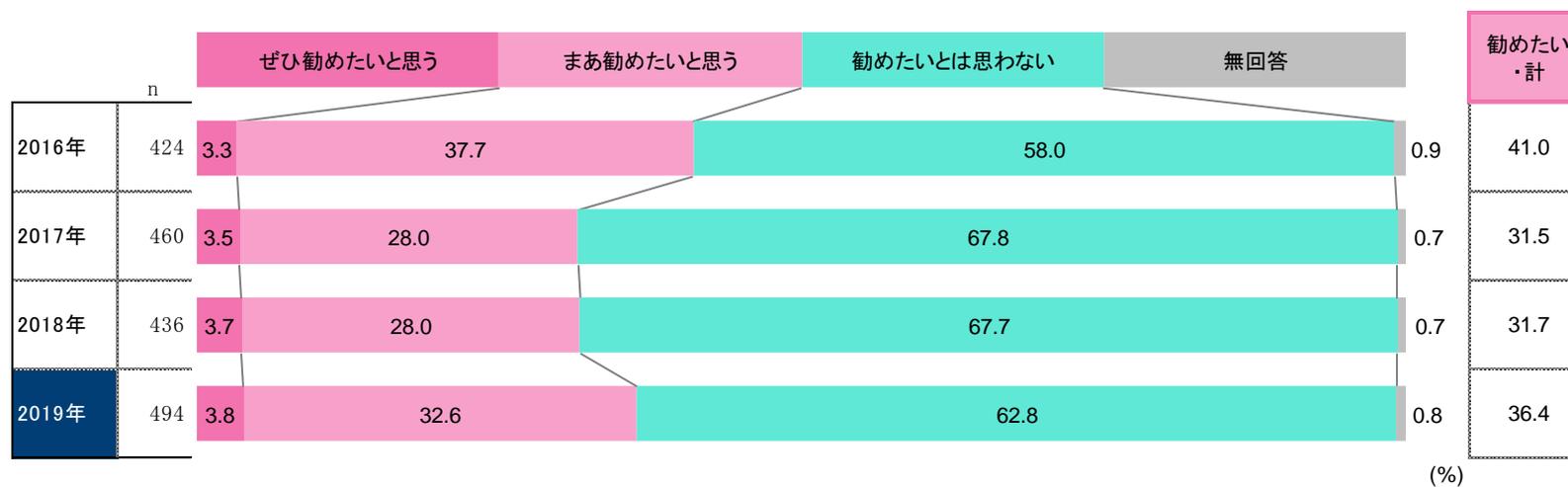
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に対して、「舌下免疫療法」を家族や友人に勧めたいと思うか聞いたところ、2019年は「勧めたい・計」(「ぜひ勧めたいと思う」+「まあ勧めたいと思う」)が36%で、63%は「勧めたいとは思わない」と回答。

Q あなたは、スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、この「舌下免疫療法」を家族や友人の方に勧めたいと思いますか。(単数回答)

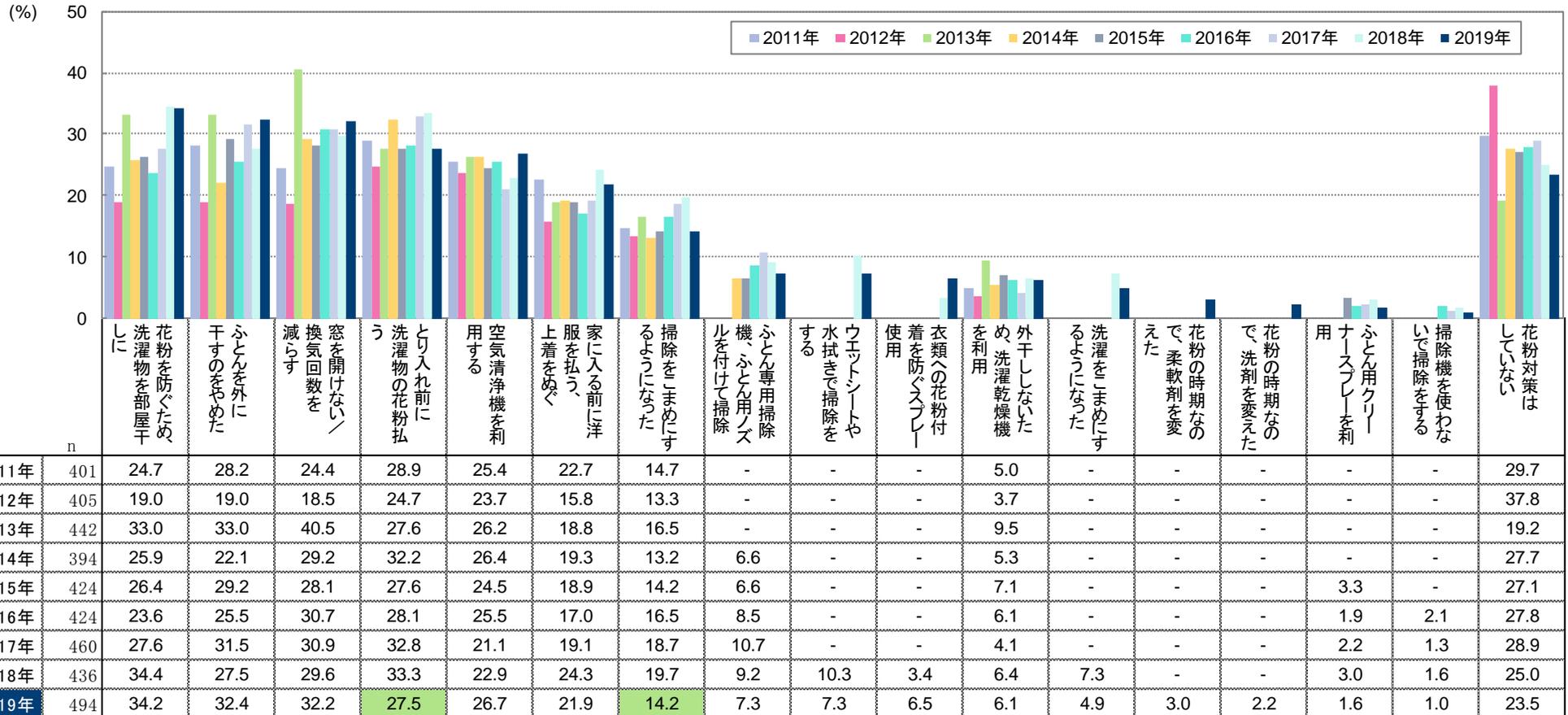
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、この3か月くらいの間に、自分や家族が花粉対策のためにどのような行動をしたかを聞いたところ、2019年では「花粉がつくのを防ぐため、洗濯物を部屋干しするようになった」が34%で最も多い。
- ◆時系列でみると、「外に干した洗濯物を取り入れる前に、洗濯物の花粉を払うようになった」と「掃除をこまめにするようになった」が昨年から6ポイント減少した。

Q この3ヶ月くらいの間に、あなたご自身やご家族が、花粉対策のためにとった行動として、下記の中からあてはまるものをいくつでもお知らせください。(複数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列(2019年の多い順に並び替え)



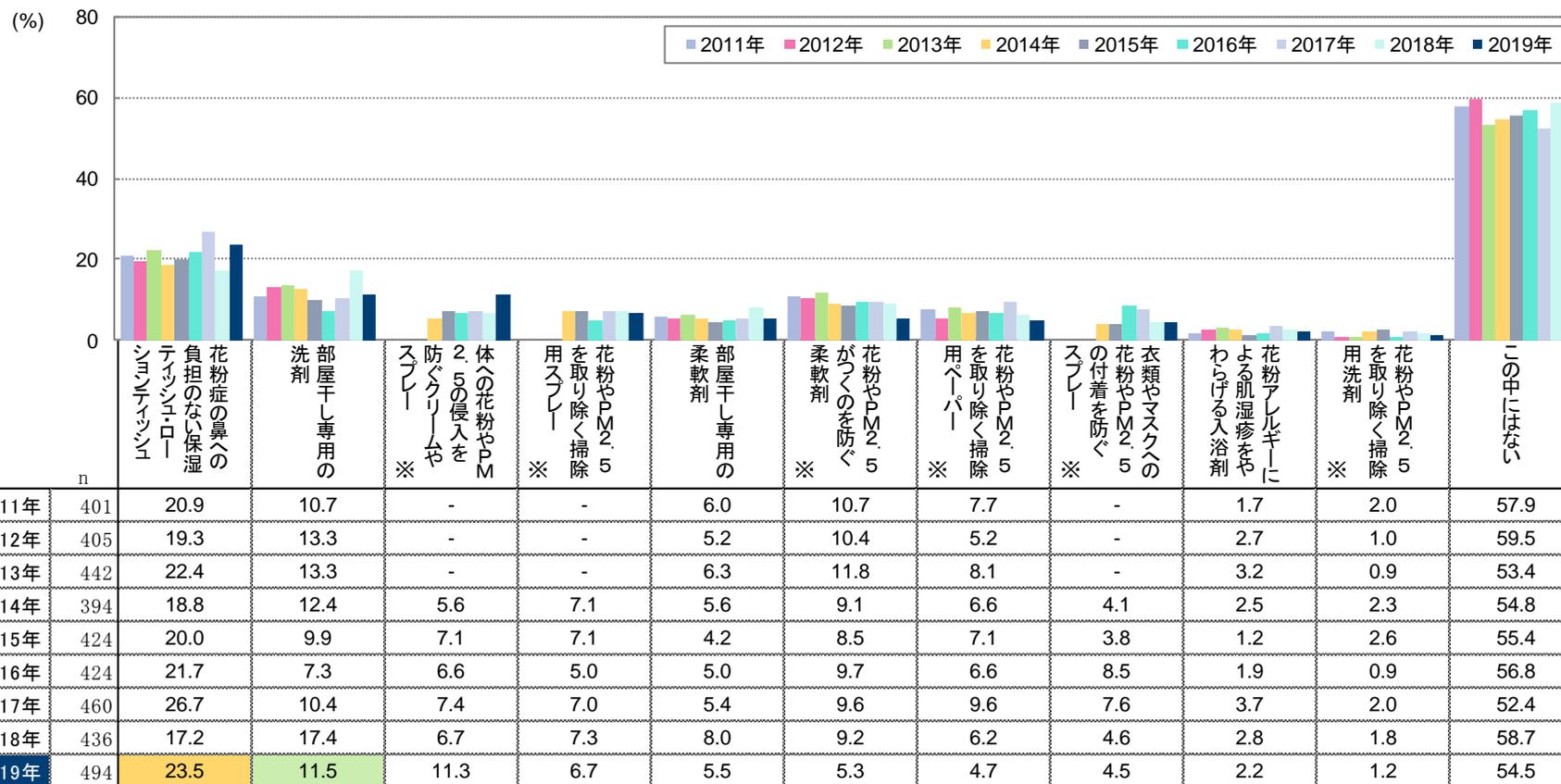
(注) 黄色は2018年より5ポイント以上高い、緑は5ポイント以上低い

※「ふとん専用掃除機、ふとん用ノズルを付けて掃除」は2014年から(ふとん用ノズルは2016年から追加)、「ふとん用クリーナー、スプレーを利用」は2015年から、「掃除機を使わないで掃除をする」は2016年から、「洗濯をこまめにするようになった」「ウエットシートや水拭きで掃除をする」「衣類への花粉付着を防ぐスプレー使用」は2018年から、「花粉の時期なので、洗剤を変えた」「花粉の時期なので、柔軟剤を変えた」は2019年から聴取。

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、この3か月くらいの間に、自分や家族が花粉対策用にどのような商品を購入したかを聞いたところ、2019年では「花粉症の鼻への負担がかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」が24%と最も多く、昨年から6ポイント増加している。
- ◆「部屋干し専用の洗剤」は12%で昨年から6ポイント減少している。

Q この3ヶ月くらいの間に、あなたご自身やご家族が、花粉対策用に下記の商品をお買いになりましたか。
次の中から(花粉対策を意識してお買いになったものだけ)あてはまるものをいくつでもお知らせください。(複数回答)

■花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



商品購入者

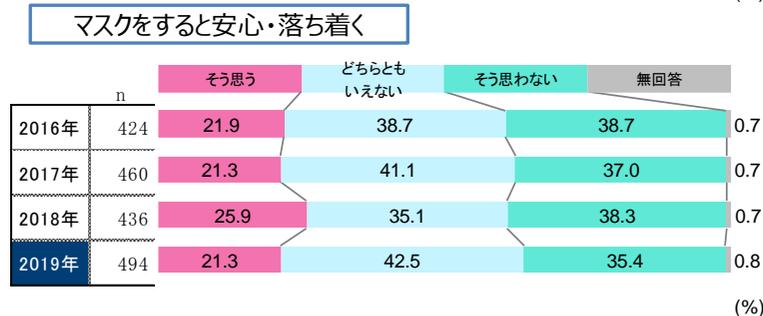
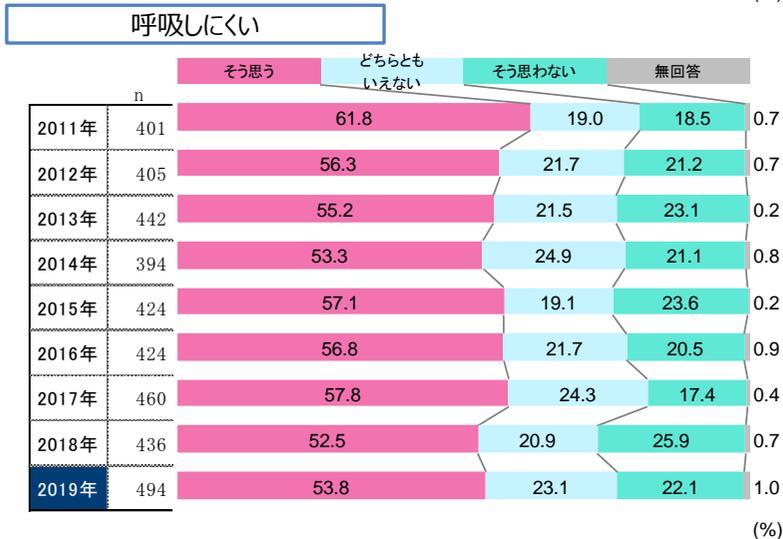
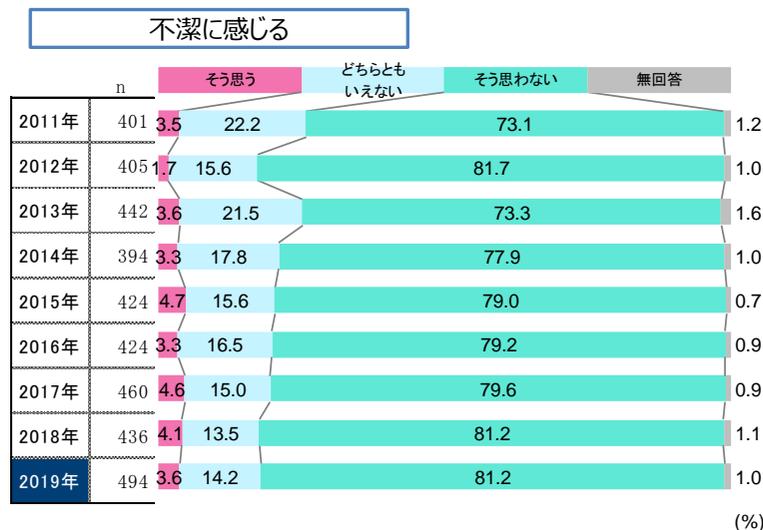
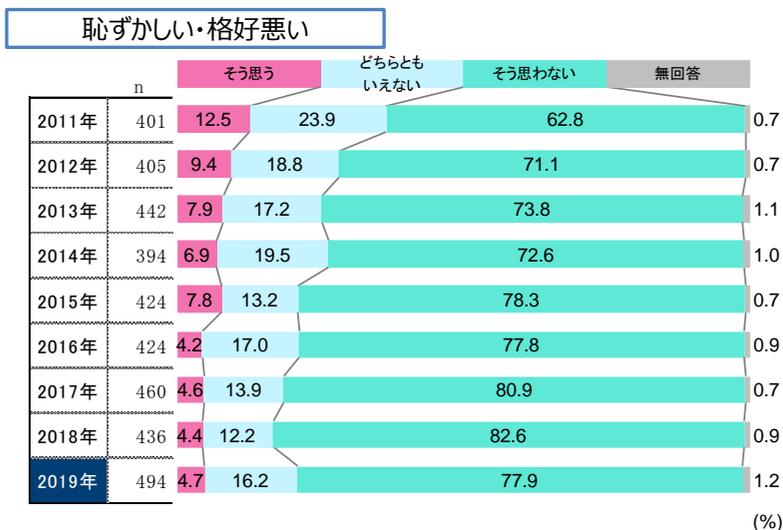
(注) は2018年より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い ※の選択肢では、2016年より「花粉やPM2.5を…」と変更した

(%)

- ◆ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人にマスクをつけることについて聞いたところ、2019年は「恥ずかしい・格好悪い」で「そう思わない」が78%、「不潔に感じる」で「そう思わない」が81%と、否定する人が多い。
- ◆ 時系列でみると、「恥ずかしい・格好悪い」は継続的に「そう思わない」が増加しており、2011年の63%から2019年は77.9%と15ポイント増加した。
- ◆ 「呼吸しにくい」で「そう思う」は54%と半数を超えている。

Q 「マスクを装着すること」について感じることを、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の中からお知らせください。(各単数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列

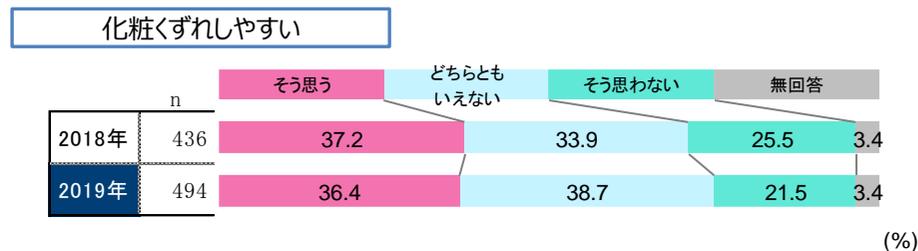
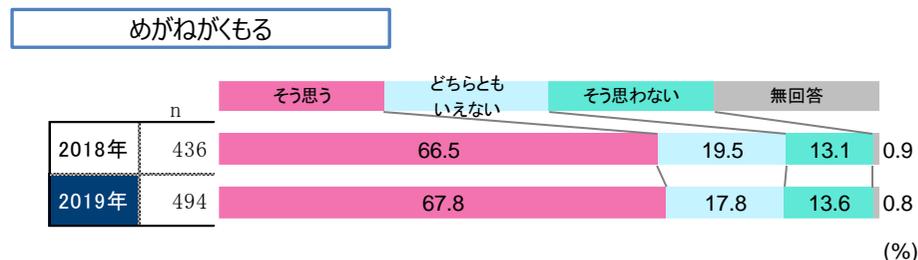
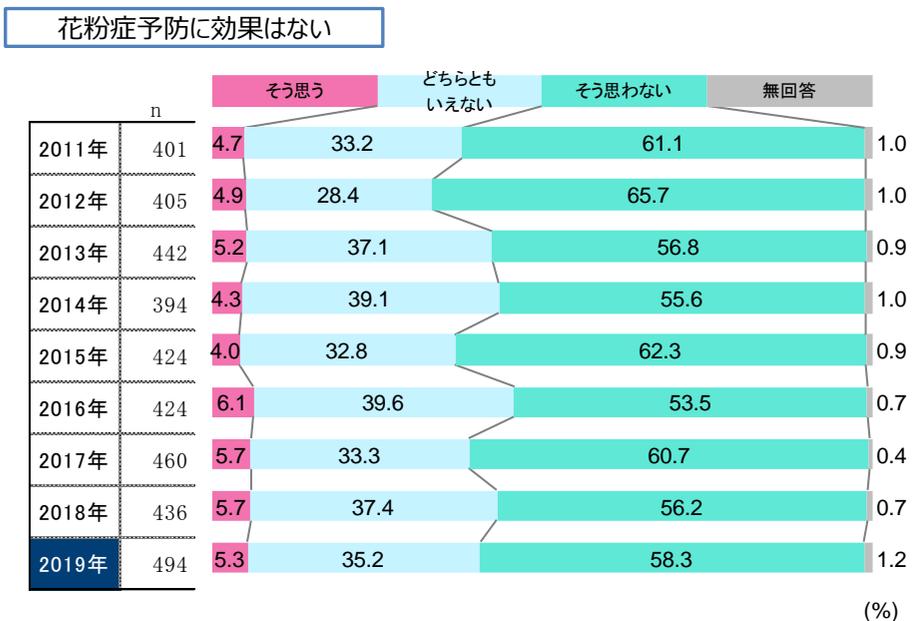


注1; 「マスクをすると安心・落ち着く」は2016年に項目追加

- ◆ 「花粉症予防に効果はない」は「そう思わない」が58%と否定する人が多い。
- ◆ 「めがねがくもる」は「そう思う」が68%と肯定する人が多い。

Q 「マスクを装着すること」について感じることを、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の中からお知らせください。(各単数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



注1; 「めがねがくもる」「化粧くずれしやすい」は2018年に項目追加

調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て

調査期間

- 2019/2/28～3/13(過去調査は2003年、2010年～2018年いずれも3月に実施)

NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**